

Y11b 「一家に1枚 天文図」の作成と配布 - 時間と空間の広がりを1枚の絵で

小阪淳、縣秀彦、高梨直紘、平松正顕、高田裕行、石川直美、川越至桜ほか天プラ、成田憲保、三浦均、杉山直、日本天文学会天文教材委員会ほか「一家に1枚宇宙図」作成委員会)

宇宙と人類(私たち)の関係を市民や子どもたちに伝えたいと考え、最新の天文学成果を示すポスター「一家に1枚 宇宙図」を作成した。このポスターは2007年度の科学技術週間(4月16日-22日)に、文部科学省科学技術・学術政策局より日本中のすべての小

学校・中学校・高等学校、さらに科学館や公開天文台に配布する予定である(10万部制作予定)。

制作は日本天文学会天文教材委員会と協力研究者の監修の下、「天文とプラネタリウム」(略称:天プラ)、国立天文台天文情報センター、デザイナー等が「一家に1枚宇宙図」作成委員会を組織し協力して進めた。

今回の宇宙図では、今まで一般的には説明が困難であった宇宙の歴史に関する表示と宇宙の広がりに関する表示を1枚の絵で示すことに挑戦した。また、階層的な表示の工夫と解説内容の厳選によって小学生から大人までがじっくり見て楽しめる今までにないコンセプトのポスターを目指した。科学技術週間では、本ポスターをネタに楽しむサイエンス・カフェも各地で実施予定である。